

企業研究

vol. 208

東京海上ミレア少額短期保険

(神奈川県横浜市)
青木 章 社長(53)



代理店に支えられ15年 新時代に向けた試みも

23年1月に東京海上グループの一員として15周年を迎え、青木社長は東京海上日動火災保険(東京都千代田区)で活躍した後、21年から御社を率いています。この15年の歩みをどのように感じていますか。

を見る機会がありました。現在、在職する130人ほどの社員の中に前身の日本厚生共済会時代からのメンバーが47人もいます。青木社長は東京海上日動火災保険(東京都千代田区)で、中堅クラスの社員含め各世代がバランスよく協力し合っています。この15年の歩みを改めて感じました。

トレスのない保険の契約手続きや保険金の請求の仕組みづくりなどに力を入れ、契約のペーパーレス化に取り組みしてきました。社会全体がデジタル化へシフトし、管理会社をはじめとする代理店のビジネスの在り方が変わる中で、その動きに取り残されないようにすることは常に意識しています。

して開放するなど、できるだけ社員に近い存在でありたいと考えています。この取り組みでも現状ある課題や5年後、10年後のサービスのあり方について、フラットな形で意見交換を行っています。

「お問い合わせを内製化し、外からの声を自社で直接聞く」というのは大切なことですね。弊社の保険を扱っていただく代理店は、23年5月末時点で全国に1836社あります。外部からの声はさまざまな意思決定をしていくうえで大事な財産だと思っています。意見を受け取るのはカスタマーサービスやコ

もっと選ばれやすく 利用しやすい保険を

新需要にこたえ、6万件の契約増

これまでの歩みを振り返ると、一貫してお客さまから評価を頂きながら成長してきました。まずは支えてくださった代理店の皆様への感謝の思いが、

就任からまもなく2年がたちます。これまでリーダーとして主に取り組んできたのは、どのようなことでしょうか。

そこには、青木社長のこれまでの経験から、取り組みが加速できているという側面もあるのでしょうか。

「お部屋の保険 ワイドII」は、順調に契約数を伸ばしています。その要因はどんなところにあると考えていますか。

「お部屋の保険 ワイドII」は、順調に契約数を伸ばしています。その要因はどんなところにあると考えていますか。

「お部屋の保険 ワイドII」は、順調に契約数を伸ばしています。その要因はどんなところにあると考えていますか。

「お部屋の保険 ワイドII」は順調に契約件数が伸びている。同社を率いる青木章社長に、好調の要因と、販売代理店である不動産会社との関わり方について聞いた。

「お部屋の保険 ワイドII」は順調に契約件数が伸びている。同社を率いる青木章社長に、好調の要因と、販売代理店である不動産会社との関わり方について聞いた。

「お部屋の保険 ワイドII」は順調に契約件数が伸びている。同社を率いる青木章社長に、好調の要因と、販売代理店である不動産会社との関わり方について聞いた。

「お部屋の保険 ワイドII」は順調に契約件数が伸びている。同社を率いる青木章社長に、好調の要因と、販売代理店である不動産会社との関わり方について聞いた。

「お部屋の保険 ワイドII」は順調に契約件数が伸びている。同社を率いる青木章社長に、好調の要因と、販売代理店である不動産会社との関わり方について聞いた。

「お部屋の保険 ワイドII」は順調に契約件数が伸びている。同社を率いる青木章社長に、好調の要因と、販売代理店である不動産会社との関わり方について聞いた。

会社概要

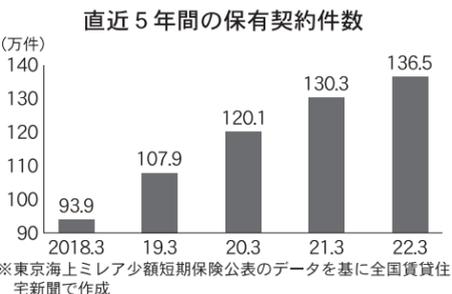
社名: 東京海上ミレア少額短期保険
所在地: 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1-1 横浜ランドマークタワー35F
設立: 1993年10月7日
資本金: 8億9583万3318円
事業内容: 少額短期保険業、他の少額短期保険会社の保険業に係る業務の代理又は事務の代行

会社メモ

日本厚生共済会として設立後、2008年東京海上グループの一社となり、10年から現社名に。東日本を主な商圏とし、同グループで西日本を商圏とする東京海上ウエスト少額短期保険(大阪市淀川区)と連携して、主に賃貸住宅向けの少額短期保険事業を展開している。住生活総合保険「お部屋の保険 ワイドII」が主軸サービス。

社長メモ

1969年8月30日、岐阜県生まれ。長良川が決壊した76年の台風17号で自宅の床上浸水を経験。その修繕費を保険で賄った原体験を基に、保険業界を志す。大学卒業後、92年に東京海上火災保険(現・東京海上日動火災保険)入社。経理、人事、企画などの管理部門で実績を積んだ後、21年7月に東京海上ミレア少額短期保険へ移り、社長に就任。



直近5年間の保有契約件数 (万件) 2018.3 93.9 19.3 107.9 20.3 120.1 21.3 130.3 22.3 136.5



▲休日にバレーボールの試合で活躍する青木社長

社長は趣味でも「鉄壁」

中学時代は部活、大学時代は同好会でバレーボールにいらした青木社長。就職後はプレーから離れたが、PTAのチームに誘われて情熱が再燃。現在は6人制と9人制の両方で汗を流すほか、子どものチームで指導も行っている。バレーボールも企業もチームプレーであることは同じ。それゆえに部下への指示にバレーボール用語が出ることもしばしば。保険会社のリーダーであるだけに、やはり得意なプレーはレシーブとアロクなのだと。